

熊谷4Hクラブ共同プロジェクト トマトジュース試飲会

平成22年5月27日

熊谷4Hクラブ協議会

○熊谷4Hクラブ協議会について

熊谷市在住の青年(およそ30歳まで)で組織し、現在会員数は6名。今年度規約を改正し、入会資格を「農業青年」から「青年」に変更し、農業に興味のある一般会員の勧誘を行っている。

農業経営及び農業技術の向上発展、生活改善、また、クラブ員の親睦・交流等を目的とし、研究活動や意見発表討論会、視察研修等の事業を実施。

主な活動内容:麦ワラの収集販売(熊谷市青年会議所との合同事業)、プロジェクト活動*、産業祭でのPR活動、視察研修など。

※プロジェクト活動

青年農業者が日頃、生産技術や経営において抱えている問題を、問題点として明らかにし、これらの課題解決に取り組む活動。課題解決に向けた「計画」→「計画の実践」→「結果の検討」→「改善」という一連の課程を通じて、農業の知識・技術及び経営能力の向上を図る。なお、活動結果については、県主催の大里地区青年農業者研究発表会(1月)で発表しており、その後、県大会、全国大会等が開催されている。

★4Hクラブとは・・・

若手の農業後継者で組織され、地域を担う農業者となるための自己研鑽と仲間作りを目的とした団体。

4つのHには、

・H a n d s(=農業の改良と生活の改善のための「腕」を磨く)。

・H e a d(=科学的に物を考えることのできる「頭」を訓練する)。

・H e a r t(=誠実で友情に富む「心」を培う)。

・H e a l t h(=楽しく、元気で働くための「健康」を増進する)という意味が込められている。

全国各地にある団体で、各地域レベルから全国大会まで幅広い枠組みで活動報告や交流会などの活動に取り組んでいる。

○共同プロジェクト活動の取組について

熊谷4HCでは、個人の課題に全員が協力して取り組む共同プロジェクトという形態をとっている。

○プロジェクト名「農業の6次産業化をめざして。」

ねらい:余剰農産物の活用法の検討を通じて、新たな販売の可能性について学習する。

経緯:①トマト農家で発生する余剰トマトを活用したい→→→加工分野での活用を検討。

②H21年に別団体で「トマトうどん」を試作した経緯があるが、保存が利き、トマト青果のない時期でも自分たちで販売できるものが良い→→→トマトジュースに決定。

③委託加工先を検討→→→視察も行い、長野県の小池加工所に依頼することとなった。

④5月中旬、400kgの余剰トマトを持ち込み、約300本(1ℓ入り)のジュースを作成。

⑤今後、販売方法について検討する(価格1,000円/本)。

効果:他の会員の経営でも加工分野への取組が検討材料となり、新たな販売への展開が期待される。また、熊谷産野菜を使用した新たな商品の提供が可能となる。

今後の予定:

①久保田農園直売所(万吉)での販売(6月いっぱい)

②JA直売所、スーパー店頭等での試飲およびアンケート等による販売動向調査。

※トマトジュースに関する問い合わせ先:久保田農園。Tel:048-536-5738

※担当課:熊谷市産業振興部農業振興課 Tel:048-588-9987(担当 吉原)